

2025年度	2月	探究保育 活動報告書	キッズスマイル 江東有明
実施クラス		実施日	実施保育者名
4.5	歳児 すみれ、ひまわり組	2 月 16 日 (月)	上乃・鈴木
● 実施計画			
活動テーマ			
「動物の名前を覚えてみよう」			
活動テーマに関する 日頃の興味関心について			
以前行った動物の活動後、他の動物の名前を英語で話たいという子どもの声が聞かれた為、今回のテーマを設定した。			
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物	
時間	内容	【環境】 ・座って話せるスペースを確保 ・タブレット・モニターのコード類は子どもが引っ掛からないよう整理 ・子どもが失敗を恐れず自由に試せるよう、温かく見守る雰囲気作り 【準備物】 ・パパッと英語タブレット ・モニター ・身体の部位のイラスト(イラストの下には、ひらがなで読める英語も記載)	
10:00	【英語活動①】 ・パパッと英語タブレットUNIT2 あいさつ・うたを流し、歌に合わせて振りつけをしたり、歌う。 ・今日の日付や天気の確認をして英語で話してみる。		
10:10	【英語活動②】 ・パパッと英語タブレット中の絵本から「!!」を読み聞かせ。 その後、読み聞かせをした絵本に関するクイズをする。		
10:15	【探求活動①、英語活動③】 ・写真を見ながら動物の名前を話す。		
10:25	【探求活動②、英語活動④】 ・フルーツバスケットの活動を応用し、フルーツの代わりに動物の名前を取り入れて活動を行った。		
10:40	今日の振り返り、挨拶		

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・以前行った、動物の名前を英語で話してみる活動で、他の動物の名前を知りたいと意欲的な姿が見られていた。今回の活動でも、いろいろな動物の名前を挙げ、英語で何というのか興味を示していた。</p> <p>・フルーツバスケットのルールをそのまま活用し、フルーツの代わりに動物の名前を英語で設定して活動を行った。遊びの中で自然に英語に触れられるようにした。</p> <p>・普段から遊んでいるゲームだったので、子どもが安心して英語活動を楽しんでいた。</p>	<p>・「この動物は英語でなんていうの？」と覚えた動物以外の動物の名前を知りたいと話していた。また覚えた英語を友達と言い合っていて楽しんでいた。</p> <p>・フルーツバスケットでは、自分が鬼になると、恥ずかしそうにしている児に対して、保育者が安心できる声かけや一緒に英語を話すようにして安心しながらゲームができるようにした。</p> <p>・保育者もゲームに加わり、一緒に楽しさを共有したり、ゲームを盛り上げていった。</p> <p>・今回覚えた動物の英語だけでなく、「鳴き声も知りたい」と保育者に話していた。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・動物が出てくると、嬉しそうに動物の名前を叫んでいた。簡単な英語の時は大きな声で英語を発していたが、発音が難しいものに関しては、声が小さくなっている。</p> <p>・新たな英語を覚える時は、子どもが慣れ親しんでいる遊びを交えながら行くと、意欲的に参加してくれると感じた。また、集中力も持続していた。</p>	<p>・活動の場所を変えたり 種類を変えたりと工夫が なされていて良いと思う。 “静”と“動”のメリハリが ついたことで、子どもたちの 集中力も持続している。</p>